



No. 7

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第2回

一般国道29号

ひめ じ きた
姫路北バイパス

【再評価】

令和2年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

目 次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針（原案）

1. 事業の概要

ひめじきた
 姫路北バイパスは、姫路市域の一般国道29号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的とした延長約6.2kmのバイパスです。

事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 沿道環境の改善

事業の概要・進捗状況

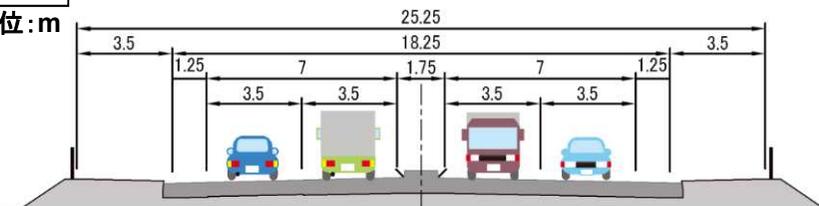
区間	あいの (起)兵庫県姫路市相野 はやしだちようむくだに (終)兵庫県姫路市林田町六九谷
道路延長	6.2km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
標準幅員	25.25m
計画交通量	22,800台/日
全体事業費	250億円
事業化	平成2年度
都市計画決定	平成2年7月
用地着手	平成9年度
工事着手	平成15年度
開通延長	1.5km(暫定2車)
事業進捗率	約61%(令和2年3月末時点)
用地取得率	約42%(面積ベース、令和2年3月末時点)

位置図



標準断面図

単位: m

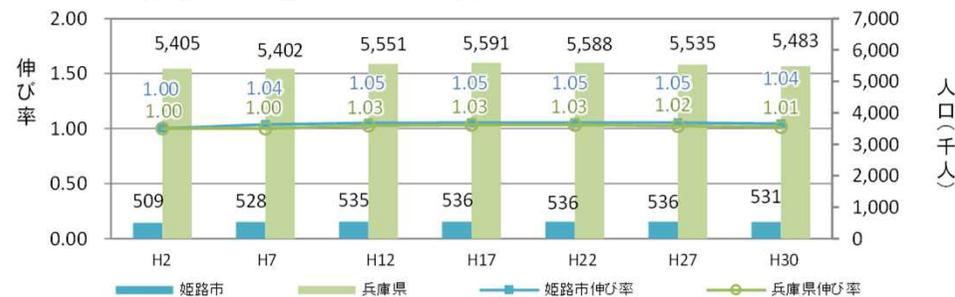


2. 事業の必要性等に関する視点

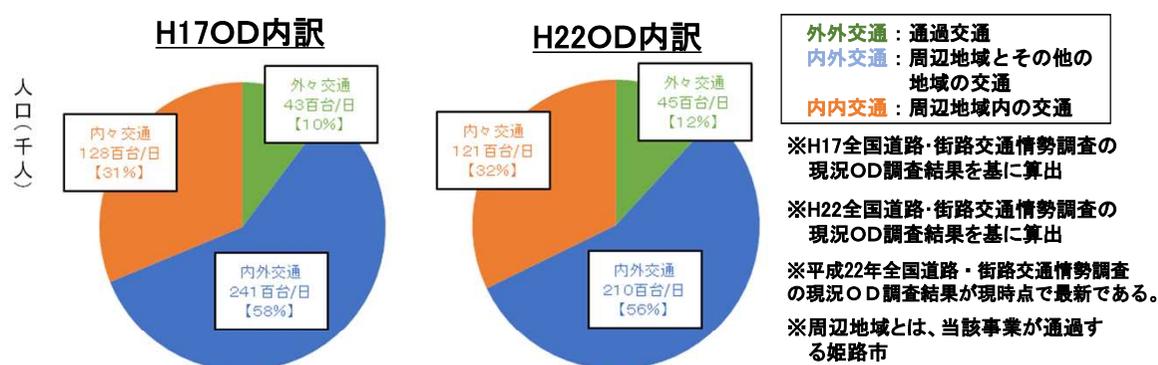
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。
- 国道29号(現道)を利用する交通特性は、外々交通が12%、内外交通が56%と広域的な交通が約7割を占めている。前回評価時と比べても、交通特性に大きな変化はない。

▼人口の推移(H2を1.0とした場合)



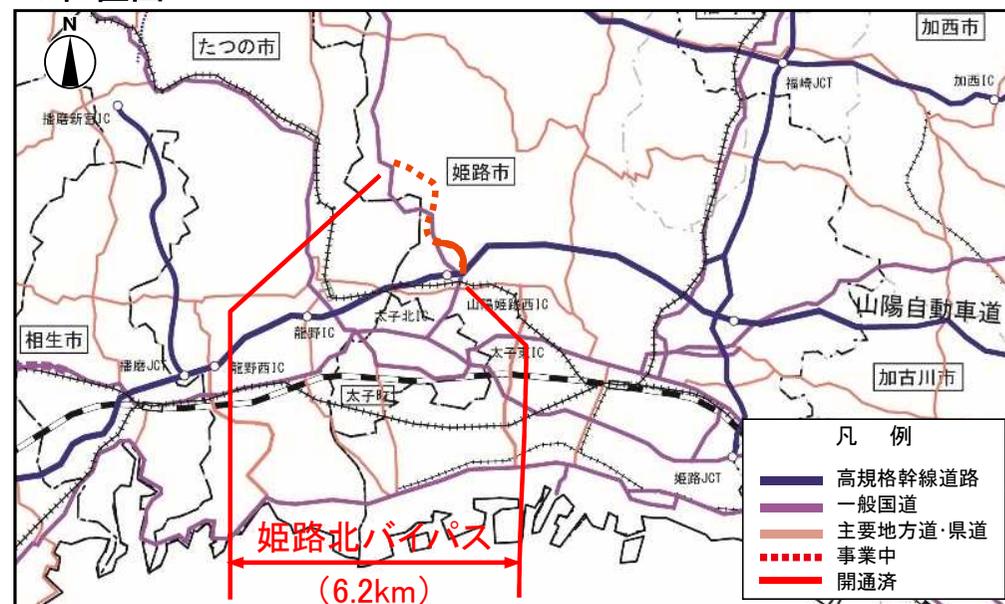
▼国道29号(現道)のOD内訳



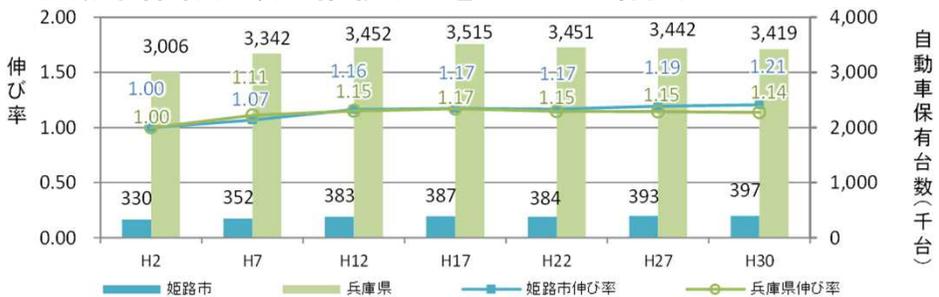
▼世帯数の推移(H2を1.0とした場合)



▼位置図



▼自動車保有台数の推移(H2を1.0とした場合)

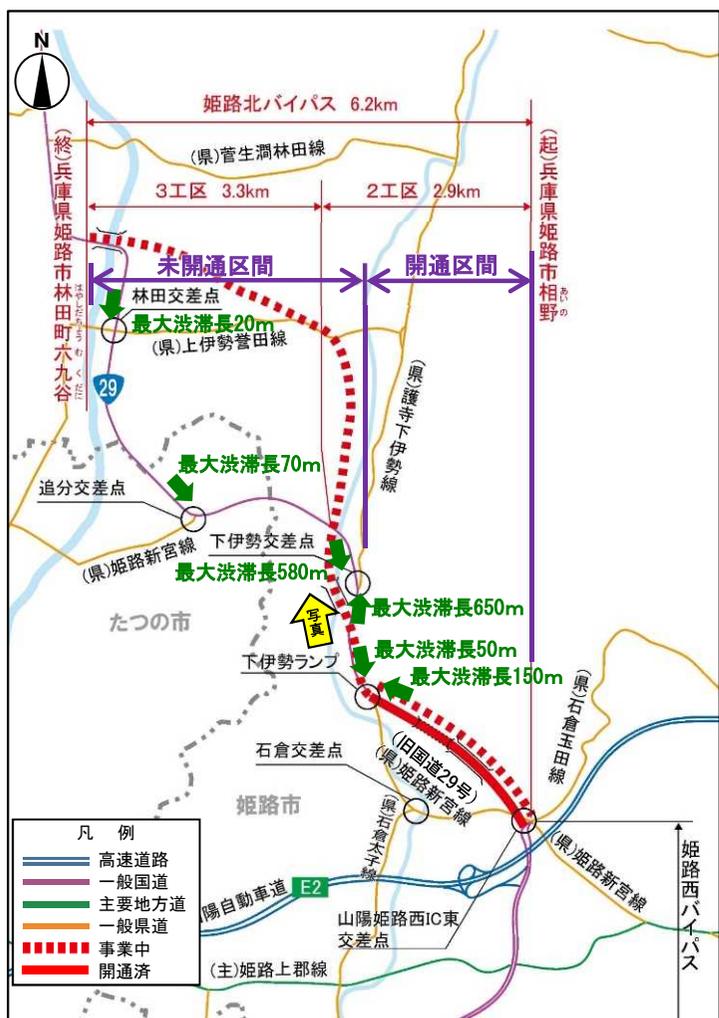


出典)人口・世帯数:国勢調査、兵庫県の推計人口(H30.10.1) 自動車保有台数:兵庫県統計書

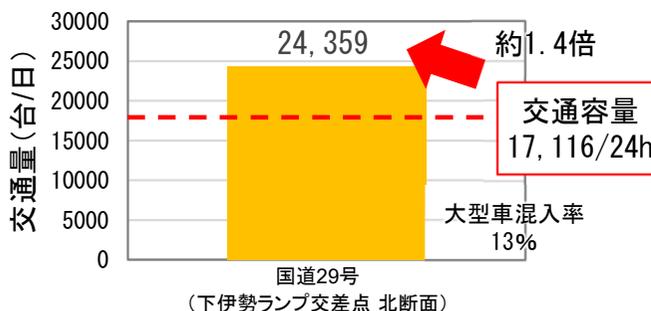
2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 未開通区間の交通量は交通容量の1.4倍の約2.4万台/日であり、下伊勢交差点では最大650mの渋滞が発生。
- 開通済区間では、現道の交通量が半減し旅行速度が大幅に改善しており、未開通区間の整備により交通混雑の緩和が期待される。



▼未開通区間の交通量の現状

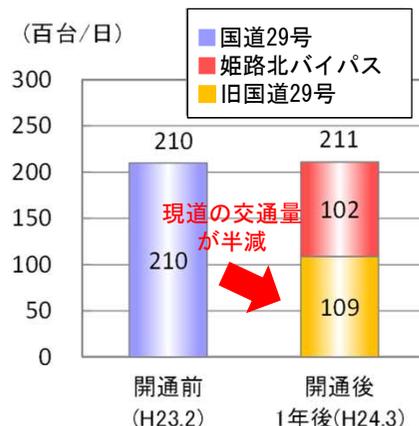


※調査日：令和元年11月14日(木)7:00~翌7:00
※交通容量は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査に基づき算出
出典：R01交通量調査(姫路河川国道事務所調べ)



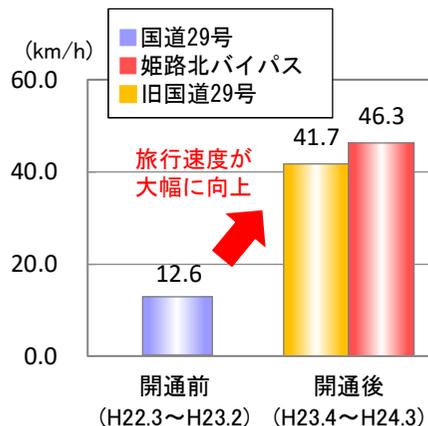
※R01年11月撮影(下伊勢交差点 南断面)

▼開通区間の交通量の状況



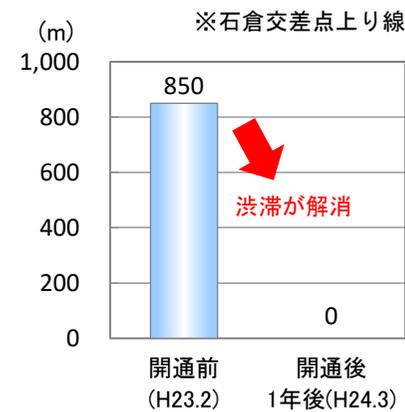
出典：交通量調査(姫路河川国道事務所調べ)

▼開通区間の旅行速度



出典：民間プローブデータ(平日上り7-9時)

▼開通区間の渋滞状況



出典：交通量調査(姫路河川国道事務所調べ)

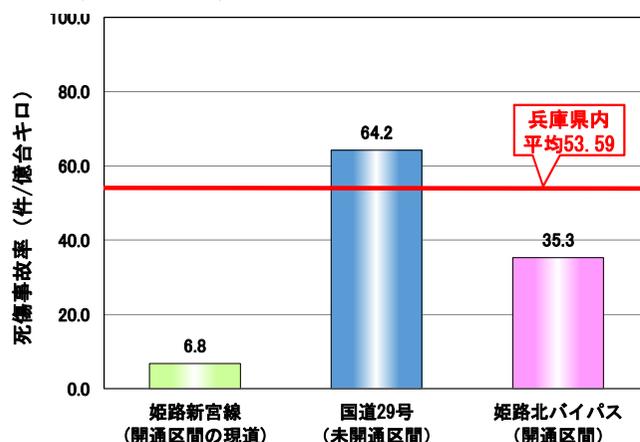
2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 国道29号の未開通区間は、渋滞や線形が悪いことで、兵庫県内の一般国道と比較し、追突事故及び正面衝突の発生割合が高く、また、死傷事故率が兵庫県内平均と比べ高い状況。
- 姫路北バイパスの開通区間の現道では、死傷事故件数が減少し、安全性が向上。

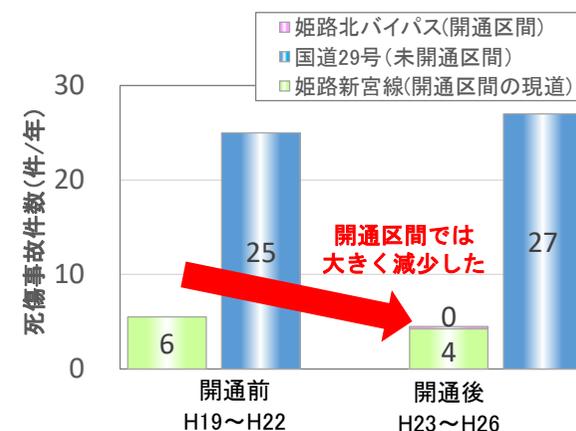


▼死傷事故率 (H27~H30)



出典：交通事故総合データ

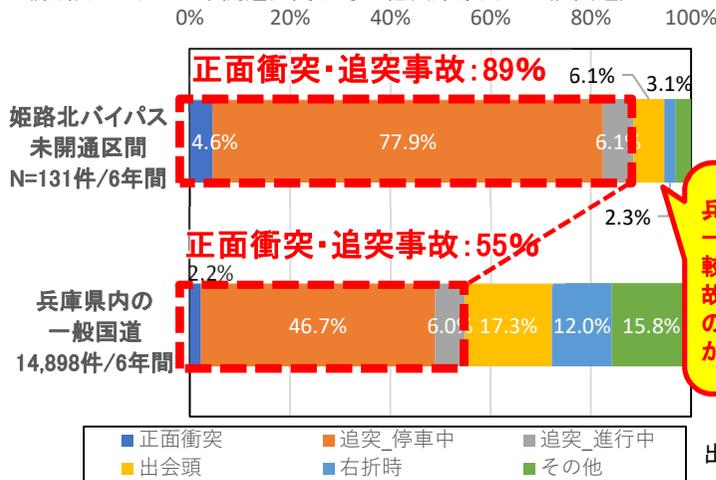
▼開通区間と未開通区間の年平均死傷事故件数の変化



出典：交通事故総合データ

▼事故形態の比較

(姫路北バイパス未開通区間とその他兵庫県内の一般国道)



兵庫県内の一般国道と比較し、追突事故、正面衝突の発生割合が高い

▼未開通区間の現道の様子



※R01年11月撮影

出典)交通事故総合データ H25-H30

2. 事業の必要性等に関する視点

3) 事業の投資効果

■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出

■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	407億円	22億円	5億円	434億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	322億円		39億円	361億円	

■ 算出条件等

- 基準年 : 令和2年度
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
- 交通量の推計時点 : 令和12年度
- 推計に用いた資料 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
- 事業費 : 250億円
- 維持管理費 : 43百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	266億円	15億円	4億円	285億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	72億円		31億円	103億円	

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
- ※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
- ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している
- ※4 推計に用いるOD表は現時点で最新の平成22年度全国道路・街路交通情勢調査を使用している
- ※5 参考：前回評価資料 <https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/ippan/zigyohyoka/ol9a8v000000cgva-att/6.pdf>

3. 事業の進捗の見込みの視点

1) 事業の進捗状況

令和2年度事業内容

- ・ 現在、用地買収・調査設計を推進しています。

進捗状況（令和2年3月末時点）

- ・ 令和元年度末までの進捗率は、用地進捗率約42%（面積ベース）、事業進捗率約61%（事業費ベース）です。

進捗上の課題

- ・ 大きな課題はありません。

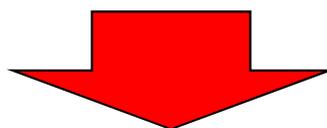
2) 今後の事業スケジュール等

- ・ 引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す



区 間	事業中区分		開通済区分
用 地	用地取得率 約42%		
	用地買収推進		用地取得済
工 事	調査設計推進		H23.3.27開通

一般国道29号姫路北バイパスは、現時点においても、国道29号の交通混雑の緩和・交通安全の確保・沿道環境の改善を目的として、周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

■兵庫県知事

令和2年10月23日 土第1351号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道29号姫路北バイパスの「事業継続」との方針に同意します。姫路北バイパス（約6.2km）のうち、これまで南側約1.5kmが供用（暫定2車）され、現道の交通量が大幅に減少したことにより、石倉交差点の渋滞解消や沿道の環境が改善されるなどの効果が発現されているが、残る4.7km区間では渋滞などの課題が残っている。

また、姫路北バイパスの開通により、世界文化遺産・国宝姫路城へのアクセスが向上するなど、広域観光振興を図るうえで大きな効果が見込まれている。

こうしたことから、今後ともコスト縮減を図っていただくとともに、開通の見通しを示しつつ、早期全線開通に向けてこれまで以上に積極的に取り組んでいただきたい。

◆沿線市町村の期待

■姫路市長

(期待する効果)

① 観光

- ・ 姫路市と宍粟市、また本市と姉妹都市である鳥取市をはじめとする国道29号沿線市町とのアクセス向上に伴う周遊観光の実現による広域観光の振興
- ・ 兵庫県指定重要有形文化財である三木家住宅やはやしだ交流センター「ゆたりん」や鹿ヶ壺、奥播磨かかしの里をはじめ、国道29号の沿線市町の温泉やスキー場等の観光施設へのアクセス向上による観光客数の増加

② 産業振興

- ・ 工場立地・設備投資の拡大による、新たな雇用の創出や地域の稼ぐ力の強化

③ 医療

- ・ 第三次救急医療施設として整備中の県立はりま姫路総合医療センター（仮称）へのアクセス向上による、搬送時間の短縮

④ 災害に強い道路ネットワーク

- ・ バイパス整備によりダブルネットワークが形成されることで、災害発生等により現道が通行止めとなった場合の交通機能の確保

(市の取組)

① 観光

- ・ 「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」をはじめ、播磨圏域連携中枢都市圏構成市町や西播磨5市6町（西播磨観光協議会）での広域的な観光促進事業の実施

② 産業振興

- ・ 工場用地ライブラリー（国道29号沿線の物件情報も登録）を活用したマッチング制度や各優遇制度、ワンストップサービスなど進出企業のサポート
- ・ 製造業のほか、地域特性を活かした6次産業化企業などの企業誘致活動

姫路北バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点、コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 7
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第2回

一般国道29号
ひめ じ きた
姫路北バイパス
【再評価】

(計算結果等参考資料)

令和2年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

(再評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道29号 姫路北バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.2 (経済的純現在価値 (B-C) = 73億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.6%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 2.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 182億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 13.5%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 16094万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 58万人・時間/年 (40396万人・時間/年⇒40339万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 一般国道29号 一般国道179号 (県)山之内筋野姫路線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 54万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 3割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道29号 (姫路市下伊勢) (旅行速度15.0km/h→60km/h) ※H27センサス混雑時旅行速度、設計速度
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	神姫バス (国道29号 姫路市相野～姫路市林田町六九谷区間)
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	宍粟市役所～新幹線姫路駅 (所要時間：整備前53分⇒一部供用後51分⇒全線供用時46分)
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	宍粟市役所～国際拠点港湾 姫路港 (所要時間：整備前54分⇒一部供用後52分⇒全線供用時47分)
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	宍粟市、主な出荷先：姫路港
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	姫路市～宍粟市間	
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	姫路市～宍粟市 (改善見込み:整備前50.3分⇒一部供用後48.2分⇒全線供用時43.6分)	
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	姫路城(年間観光客入り込み数:1,548千人/年 H31年度)	
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	宍粟市～県立姫路循環器センター、(所要時間:整備前53分⇒一部供用後50分⇒全線供用時46分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	令和2年兵庫県地域防災計画（1次緊急輸送道路）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名 国道29号（現道） （姫路市相野～姫路市林田町区間）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:3064.14t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道29号 一般国道179号（県）山之内筋野姫路線 排出削減量：19.54t/年、排出削減率：4割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：17.45t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道29号 一般国道179号（県）山之内筋野姫路線 排出削減量：1.12t/年、排出削減率：4割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.97t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	西播磨地域都市計画区域マスタープラン：主要幹線道路の整備に位置づけ、令和2年度兵庫県交通安全実施計画に位置づけ、姫路市総合計画：広域交通網の整備に位置づけ、第2次たつの市総合計画：広域幹線道路の整備に位置づけ
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道29号	姫路北バイパス	L=6.2km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
22,800	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	239億円	120億円	359億円
うち残事業分	92億円	95億円	187億円
基準年における 現在価値 (C)	322億円	39億円	361億円
うち残事業分	72億円	31億円	103億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和10年度			
単年便益 (初年便益)	28億円	1.4億円	0.34億円	30億円
基準年における 現在価値 (B)	407億円	22億円	5.0億円	434億円
うち残事業分	266億円	15億円	3.9億円	285億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	73億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.6%
費用便益比（残事業）	2.8
経済的純現在価値（残事業）	182億円
経済的内部収益率（残事業）	13.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	22,800台/日	±10%	0.98~1.5
事業費	92億円	±10%	1.2~1.2
事業期間	7年	±20%	1.2~1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	22,800台/日	±10%	2.3~3.3
事業費	92億円	±10%	2.6~3.0
事業期間	7年	±20%	2.7~2.8

交通状況の変化

様式-3①

事業名：姫路北バイパス（事業全体）

（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (6.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	14,300	22,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	6.47	31.61	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道29号 (5.8km)	交通量	[台/日]	18,800	4,800
		走行時間	[分]	13	8
		走行時間費用	[億円/年]	42.59	8.36
	一般国道179号 (5.4km)	交通量	[台/日]	13,800	13,700
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	29.84	28.59
	(県)山之内 筋野姫路線 (5.5km)	交通量	[台/日]	14,500	13,400
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	31.34	27.82
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (7,274.3km)	走行時間費用	[億円/年]	24,811.05	24,797.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,297.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,921.29	24,893.55	27.74

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

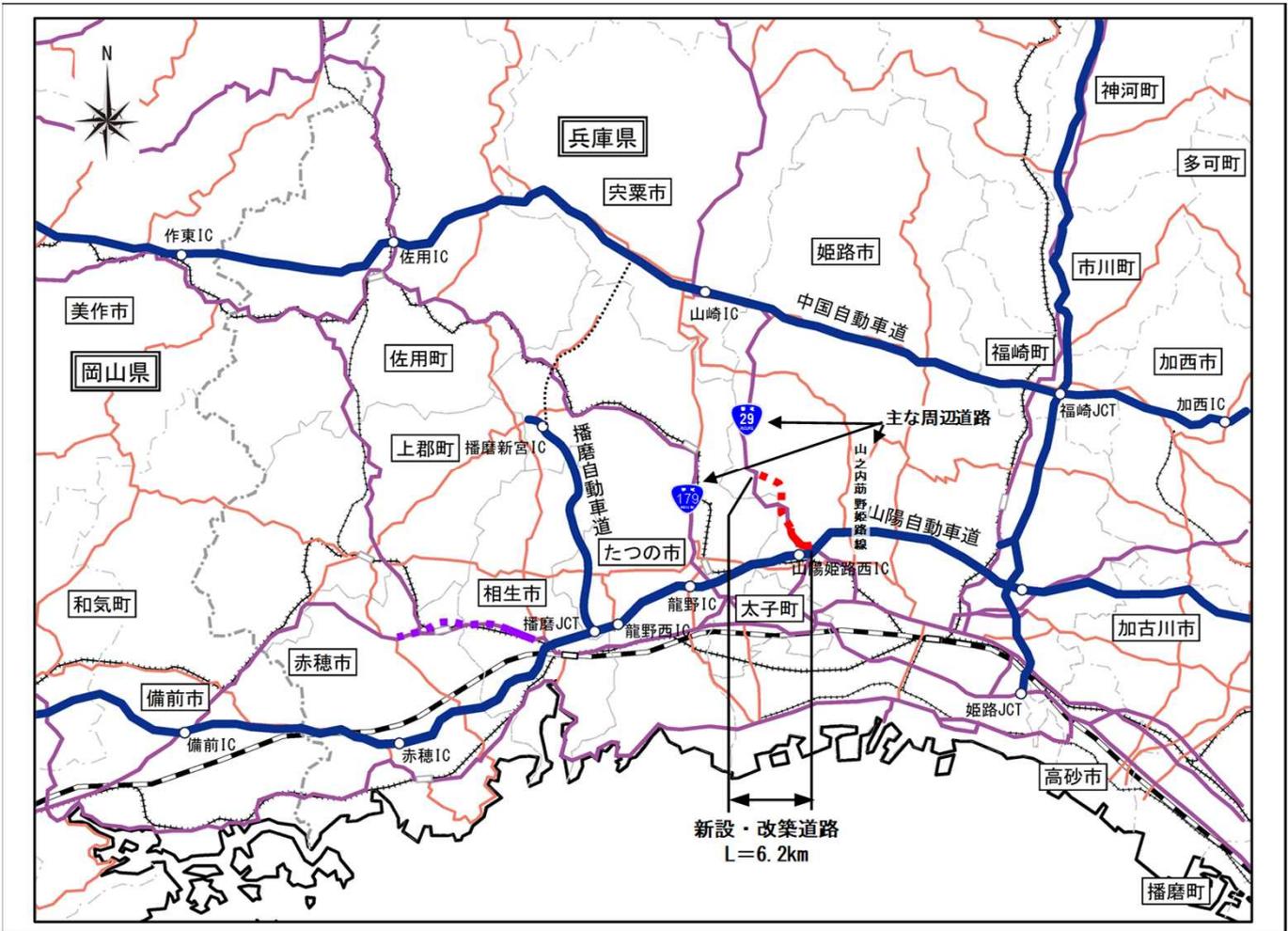
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：姫路北バイパス（残事業）

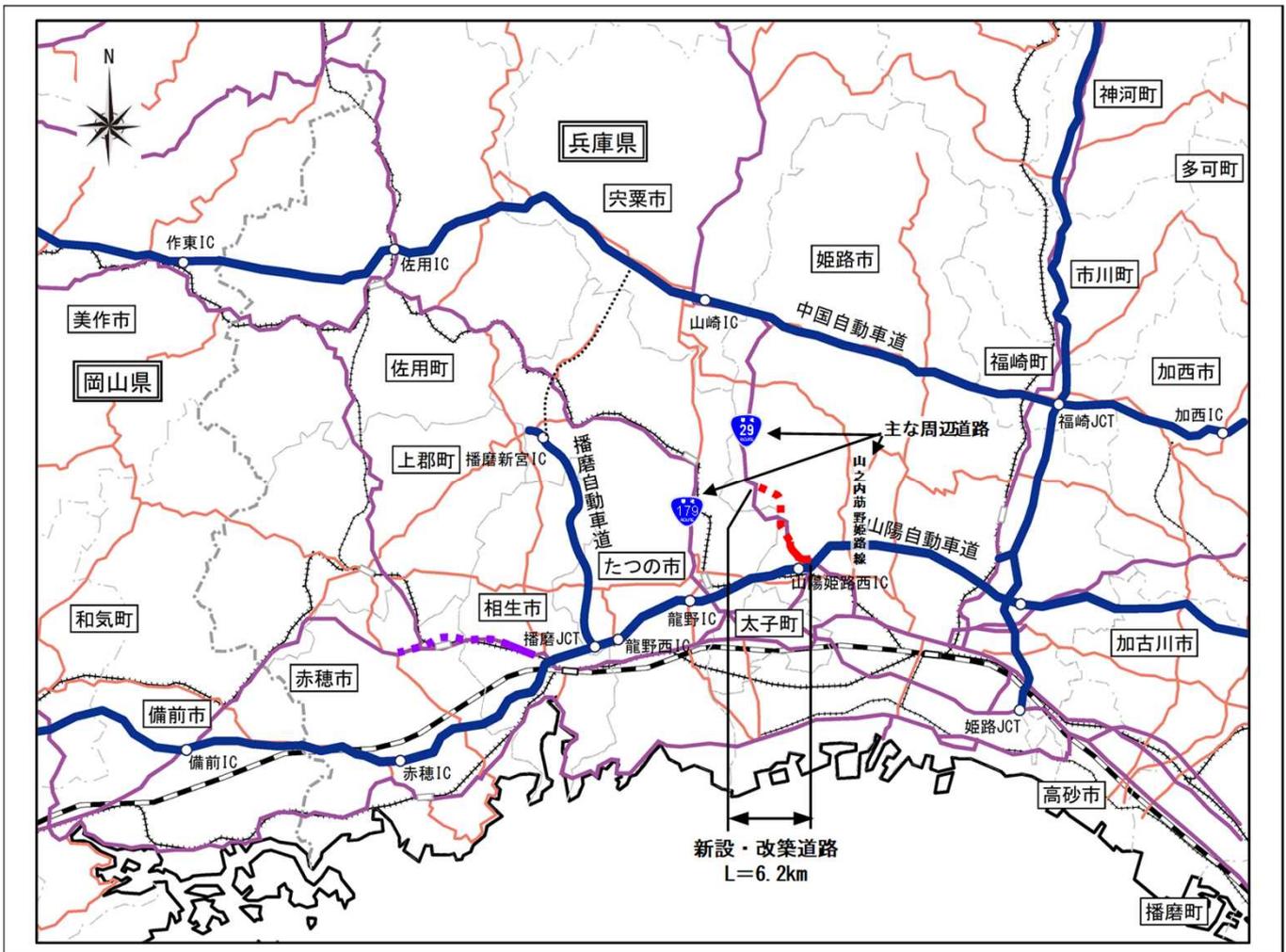
（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (6.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	12,900	22,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	5	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	11.55	31.61	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道29号 (5.8km)	交通量	[台/日]	16,600	4,800
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	34.85	8.36
	一般国道179号 (5.4km)	交通量	[台/日]	13,600	13,700
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	28.92	28.59
	(県)山之内 筋野姫路線 (5.5km)	交通量	[台/日]	14,000	13,400
		走行時間	[分]	13	12
		走行時間費用	[億円/年]	29.67	27.82
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (7,274.3km)	走行時間費用	[億円/年]	24,806.72	24,797.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,297.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,911.70	24,893.55	18.15

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：姫路北バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/>
	その他() <input type="checkbox"/>	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
		単価(億円)		単純単価(億円)			
		0.43		6.2			
		2.65					
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-38年目	H 2	3.2434	113.3	0.78	2.29		
-37年目	H 3	3.1187	116.0	0.68	1.88		
-36年目	H 4	2.9987	117.6	0.58	1.53		
-35年目	H 5	2.8834	117.9	0.58	1.46		
-34年目	H 6	2.7725	117.8	0.58	1.41		
-33年目	H 7	2.6658	117.1	0.58	1.36		
-32年目	H 8	2.5633	116.6	0.59	1.34		
-31年目	H 9	2.4647	117.5	3.77	8.13		
-30年目	H 10	2.3699	116.9	6.90	14.37		
-29年目	H 11	2.2788	115.2	5.26	10.69		
-28年目	H 12	2.1911	113.8	6.71	13.29		
-27年目	H 13	2.1068	112.4	9.03	17.39		
-26年目	H 14	2.0258	110.5	8.68	16.36		
-25年目	H 15	1.9479	109.0	4.99	9.17		
-24年目	H 16	1.8730	107.9	6.76	12.07		
-23年目	H 17	1.8009	106.7	4.76	8.26		
-22年目	H 18	1.7317	105.9	14.19	23.86		
-21年目	H 19	1.6651	105.0	10.38	16.92		
-20年目	H 20	1.6010	104.4	10.18	16.05		
-19年目	H 21	1.5395	103.0	12.34	18.97		
-18年目	H 22	1.4802	101.3	30.93	46.46		
-17年目	H 23	1.4233	99.8	0.19	0.28		
-16年目	H 24	1.3686	99.0	0.95	1.35		
-15年目	H 25	1.3159	99.0	0.62	0.85		
-14年目	H 26	1.2653	101.5	0.19	0.24		
-13年目	H 27	1.2167	103.0	0.56	0.67		
-12年目	H 28	1.1699	102.8	0.56	0.65		
-11年目	H 29	1.1249	102.9	0.93	1.04		
-10年目	H 30	1.0816	102.8	0.93	1.00		
-9年目	R 1	1.0400	102.8	0.93	0.96		
-8年目	R 2	1.0000	102.8	1.48	1.48		
-7年目	R 3	0.9615	102.8	1.53	1.47		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	6.18	5.71		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	11.82	10.51		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	18.75	16.03		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	23.23	19.09		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	16.75	13.24		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	13.84	10.51		
供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			2.41	1.76
1年目	R 11	0.7026	102.8			2.41	1.69
2年目	R 12	0.6756	102.8			2.41	1.63
3年目	R 13	0.6496	102.8			2.41	1.56
4年目	R 14	0.6246	102.8			2.41	1.50
5年目	R 15	0.6006	102.8			2.41	1.45
6年目	R 16	0.5775	102.8			2.41	1.39
7年目	R 17	0.5553	102.8			2.41	1.34
8年目	R 18	0.5339	102.8			2.41	1.29
9年目	R 19	0.5134	102.8			2.41	1.24
10年目	R 20	0.4936	102.8			2.41	1.19
11年目	R 21	0.4746	102.8			2.41	1.14
12年目	R 22	0.4564	102.8			2.41	1.10
13年目	R 23	0.4388	102.8			2.41	1.06
14年目	R 24	0.4220	102.8			2.41	1.02
15年目	R 25	0.4057	102.8			2.41	0.98
16年目	R 26	0.3901	102.8			2.41	0.94
17年目	R 27	0.3751	102.8			2.41	0.90
18年目	R 28	0.3607	102.8			2.41	0.87
19年目	R 29	0.3468	102.8			2.41	0.84
20年目	R 30	0.3335	102.8			2.41	0.80
21年目	R 31	0.3207	102.8			2.41	0.77
22年目	R 32	0.3083	102.8			2.41	0.74
23年目	R 33	0.2965	102.8			2.41	0.71
24年目	R 34	0.2851	102.8			2.41	0.69
25年目	R 35	0.2741	102.8			2.41	0.66
26年目	R 36	0.2636	102.8			2.41	0.64
27年目	R 37	0.2534	102.8			2.41	0.61
28年目	R 38	0.2437	102.8			2.41	0.59
29年目	R 39	0.2343	102.8			2.41	0.56
30年目	R 40	0.2253	102.8			2.41	0.54
31年目	R 41	0.2166	102.8			2.41	0.52
32年目	R 42	0.2083	102.8			2.41	0.50
33年目	R 43	0.2003	102.8			2.41	0.48
34年目	R 44	0.1926	102.8			2.41	0.46
35年目	R 45	0.1852	102.8			2.41	0.45
36年目	R 46	0.1780	102.8			2.41	0.43
37年目	R 47	0.1712	102.8			2.41	0.41
38年目	R 48	0.1646	102.8			2.41	0.40
39年目	R 49	0.1583	102.8			2.41	0.38
40年目	R 50	0.1522	102.8			2.41	0.37
41年目	R 51	0.1463	102.8			2.41	0.35
42年目	R 52	0.1407	102.8			2.41	0.34
43年目	R 53	0.1353	102.8			2.41	0.33
44年目	R 54	0.1301	102.8			2.41	0.31
45年目	R 55	0.1251	102.8			2.41	0.30
46年目	R 56	0.1203	102.8			2.41	0.29
47年目	R 57	0.1157	102.8			2.41	0.28
48年目	R 58	0.1112	102.8			2.41	0.27
49年目	R 59	0.1069	102.8	-60.79	-6.50	2.41	0.26
合計				177.89	321.84	120.45	39.33
単純事業費計				238.67		120.45	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道29号 姫路北バイパス

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.44	4.7	2.09
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	R 3	0.9615	102.8	1.53	1.47		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	6.18	5.71		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	11.82	10.51		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	18.75	16.03		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	23.23	19.09		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	16.75	13.24		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	13.84	10.51		
供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			1.90	1.39
1年目	R 11	0.7026	102.8			1.90	1.33
2年目	R 12	0.6756	102.8			1.90	1.28
3年目	R 13	0.6496	102.8			1.90	1.23
4年目	R 14	0.6246	102.8			1.90	1.19
5年目	R 15	0.6006	102.8			1.90	1.14
6年目	R 16	0.5775	102.8			1.90	1.10
7年目	R 17	0.5553	102.8			1.90	1.06
8年目	R 18	0.5339	102.8			1.90	1.01
9年目	R 19	0.5134	102.8			1.90	0.98
10年目	R 20	0.4936	102.8			1.90	0.94
11年目	R 21	0.4746	102.8			1.90	0.90
12年目	R 22	0.4564	102.8			1.90	0.87
13年目	R 23	0.4388	102.8			1.90	0.83
14年目	R 24	0.4220	102.8			1.90	0.80
15年目	R 25	0.4057	102.8			1.90	0.77
16年目	R 26	0.3901	102.8			1.90	0.74
17年目	R 27	0.3751	102.8			1.90	0.71
18年目	R 28	0.3607	102.8			1.90	0.69
19年目	R 29	0.3468	102.8			1.90	0.66
20年目	R 30	0.3335	102.8			1.90	0.63
21年目	R 31	0.3207	102.8			1.90	0.61
22年目	R 32	0.3083	102.8			1.90	0.59
23年目	R 33	0.2965	102.8			1.90	0.56
24年目	R 34	0.2851	102.8			1.90	0.54
25年目	R 35	0.2741	102.8			1.90	0.52
26年目	R 36	0.2636	102.8			1.90	0.50
27年目	R 37	0.2534	102.8			1.90	0.48
28年目	R 38	0.2437	102.8			1.90	0.46
29年目	R 39	0.2343	102.8			1.90	0.45
30年目	R 40	0.2253	102.8			1.90	0.43
31年目	R 41	0.2166	102.8			1.90	0.41
32年目	R 42	0.2083	102.8			1.90	0.40
33年目	R 43	0.2003	102.8			1.90	0.38
34年目	R 44	0.1926	102.8			1.90	0.37
35年目	R 45	0.1852	102.8			1.90	0.35
36年目	R 46	0.1780	102.8			1.90	0.34
37年目	R 47	0.1712	102.8			1.90	0.33
38年目	R 48	0.1646	102.8			1.90	0.31
39年目	R 49	0.1583	102.8			1.90	0.30
40年目	R 50	0.1522	102.8			1.90	0.29
41年目	R 51	0.1463	102.8			1.90	0.28
42年目	R 52	0.1407	102.8			1.90	0.27
43年目	R 53	0.1353	102.8			1.90	0.26
44年目	R 54	0.1301	102.8			1.90	0.25
45年目	R 55	0.1251	102.8			1.90	0.24
46年目	R 56	0.1203	102.8			1.90	0.23
47年目	R 57	0.1157	102.8			1.90	0.22
48年目	R 58	0.1112	102.8			1.90	0.21
49年目	R 59	0.1069	102.8	-44.39	-4.75	1.90	0.20
合計				47.71	71.81	95.00	31.03
単純事業費計					92.10		95.00

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道29号 姫路北バイパス

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7307	102.8	16.57	4.70	6.61	27.87	20.37	0.53	0.15	0.75	1.43	1.04	0.34	0.25	29.65	21.66
1年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7026	102.8	16.54	4.62	6.64	27.81	19.54	0.52	0.15	0.76	1.43	1.01	0.34	0.24	29.58	20.78
2年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6756	102.8	16.52	4.54	6.68	27.74	18.74	0.52	0.15	0.76	1.43	0.97	0.34	0.23	29.52	19.94
3年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6496	102.8	16.39	4.50	6.67	27.56	17.90	0.52	0.14	0.76	1.42	0.93	0.34	0.22	29.32	19.05
4年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6246	102.8	16.26	4.46	6.66	27.37	17.10	0.52	0.14	0.76	1.42	0.89	0.34	0.21	29.13	18.19
5年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6006	102.8	16.12	4.41	6.65	27.18	16.33	0.51	0.14	0.76	1.41	0.85	0.33	0.20	28.93	17.37
6年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5775	102.8	15.99	4.37	6.64	27.00	15.59	0.51	0.14	0.76	1.40	0.81	0.33	0.19	28.73	16.59
7年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5553	102.8	15.86	4.33	6.62	26.81	14.89	0.50	0.14	0.76	1.40	0.78	0.33	0.18	28.54	15.85
8年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5339	102.8	15.73	4.28	6.61	26.62	14.21	0.50	0.14	0.75	1.39	0.74	0.33	0.17	28.34	15.13
9年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5134	102.8	15.59	4.24	6.60	26.44	13.57	0.49	0.14	0.75	1.38	0.74	0.33	0.17	28.14	14.45
10年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4936	102.8	15.46	4.19	6.59	26.25	12.96	0.49	0.14	0.75	1.38	0.68	0.32	0.16	27.95	13.80
11年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4746	102.8	15.33	4.15	6.58	26.06	12.37	0.49	0.13	0.75	1.37	0.65	0.32	0.15	27.75	13.17
12年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4564	102.8	15.20	4.11	6.57	25.88	11.81	0.48	0.13	0.75	1.36	0.62	0.32	0.15	27.56	12.58
13年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4388	102.8	15.06	4.06	6.56	25.69	11.27	0.48	0.13	0.75	1.36	0.60	0.32	0.14	27.36	12.01
14年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4220	102.8	14.93	4.02	6.55	25.50	10.76	0.47	0.13	0.75	1.35	0.57	0.31	0.13	27.16	11.46
15年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4057	102.8	14.80	3.98	6.54	25.31	10.27	0.47	0.13	0.75	1.34	0.54	0.31	0.13	26.97	10.94
16年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3901	102.8	14.67	3.93	6.53	25.13	9.80	0.47	0.13	0.74	1.34	0.52	0.31	0.12	26.77	10.44
17年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3751	102.8	14.53	3.89	6.52	24.94	9.36	0.46	0.13	0.74	1.33	0.50	0.31	0.11	26.58	9.97
18年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3607	102.8	14.40	3.85	6.51	24.75	8.93	0.46	0.12	0.74	1.32	0.48	0.30	0.11	26.38	9.52
19年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3468	102.8	14.27	3.80	6.50	24.57	8.52	0.45	0.12	0.74	1.32	0.46	0.30	0.10	26.18	9.08
20年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3335	102.8	14.14	3.76	6.48	24.38	8.13	0.45	0.12	0.74	1.31	0.44	0.30	0.10	25.99	8.67
21年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3207	102.8	14.00	3.72	6.47	24.19	7.76	0.44	0.12	0.74	1.30	0.42	0.30	0.09	25.79	8.27
22年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3083	102.8	13.87	3.67	6.46	24.01	7.40	0.44	0.12	0.74	1.29	0.40	0.29	0.09	25.60	7.89
23年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2965	102.8	13.74	3.63	6.45	23.82	7.06	0.44	0.12	0.74	1.29	0.38	0.29	0.09	25.40	7.53
24年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2851	102.8	13.61	3.59	6.44	23.63	6.74	0.43	0.12	0.73	1.28	0.37	0.29	0.08	25.20	7.19
25年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2741	102.8	13.47	3.54	6.43	23.45	6.43	0.43	0.11	0.73	1.27	0.35	0.29	0.08	25.01	6.85
26年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2636	102.8	13.34	3.50	6.42	23.26	6.13	0.42	0.11	0.73	1.27	0.33	0.28	0.07	24.81	6.54
27年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2534	102.8	13.21	3.46	6.41	23.07	5.85	0.42	0.11	0.73	1.26	0.32	0.28	0.07	24.61	6.24
28年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2437	102.8	13.08	3.41	6.40	22.89	5.58	0.41	0.11	0.73	1.25	0.31	0.28	0.07	24.42	5.95
29年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2343	102.8	12.94	3.37	6.39	22.70	5.32	0.41	0.11	0.73	1.25	0.29	0.28	0.06	24.22	5.68
30年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2253	102.8	12.81	3.32	6.38	22.51	5.07	0.41	0.11	0.73	1.24	0.28	0.27	0.06	24.03	5.41
31年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2166	102.8	12.68	3.28	6.37	22.33	4.84	0.40	0.11	0.73	1.23	0.27	0.27	0.06	23.83	5.16
32年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2083	102.8	12.55	3.24	6.35	22.14	4.61	0.40	0.10	0.72	1.23	0.26	0.27	0.06	23.63	4.92
33年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2003	102.8	12.41	3.19	6.34	21.95	4.40	0.39	0.10	0.72	1.22	0.24	0.27	0.05	23.44	4.69
34年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1926	102.8	12.28	3.15	6.33	21.76	4.19	0.39	0.10	0.72	1.21	0.23	0.26	0.05	23.24	4.48
35年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1852	102.8	12.15	3.11	6.32	21.58	4.00	0.39	0.10	0.72	1.21	0.22	0.26	0.05	23.05	4.27
36年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1780	102.8	12.02	3.06	6.31	21.39	3.81	0.38	0.10	0.72	1.20	0.21	0.26	0.05	22.85	4.07
37年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1712	102.8	11.88	3.02	6.30	21.20	3.63	0.38	0.10	0.72	1.19	0.20	0.26	0.04	22.65	3.88
38年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1646	102.8	11.75	2.98	6.29	21.02	3.46	0.37	0.10	0.72	1.19	0.20	0.25	0.04	22.46	3.70
39年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1583	102.8	11.62	2.93	6.28	20.83	3.30	0.37	0.09	0.72	1.18	0.19	0.25	0.04	22.26	3.52
40年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1522	102.8	11.49	2.89	6.27	20.64	3.14	0.36	0.09	0.71	1.17	0.18	0.25	0.04	22.07	3.36
41年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1463	102.8	11.35	2.85	6.26	20.46	2.99	0.36	0.09	0.71	1.16	0.17	0.25	0.04	21.87	3.20
42年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1407	102.8	11.22	2.80	6.25	20.27	2.85	0.36	0.09	0.71	1.16	0.16	0.24	0.03	21.67	3.05
43年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1353	102.8	11.09	2.76	6.24	20.08	2.72	0.35	0.09	0.71	1.15	0.16	0.24	0.03	21.48	2.91
44年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1301	102.8	10.96	2.72	6.23	19.90	2.59	0.35	0.09	0.71	1.14	0.15	0.24	0.03	21.28	2.77
45年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1251	102.8	10.82	2.67	6.21	19.71	2.47	0.34	0.09	0.71	1.14	0.14	0.24	0.03	21.08	2.64
46年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1203	102.8	10.69	2.63	6.20	19.52	2.35	0.34	0.08	0.71	1.13	0.14	0.23	0.03	20.89	2.51
47年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1157	102.8	10.56	2.59	6.19	19.34	2.24	0.33	0.08	0.71	1.12	0.13	0.23	0.03	20.69	2.39
48年目	R 58	0.98729	0.98289	0.99826	0.98938	0.1112	102.8	10.42	2.54	6.18	19.15	2.13	0.33	0.08	0.70	1.12	0.12	0.23	0.03	20.50	2.28
49年目	R 59	0.98712	0.98259	0.99825	0.98927	0.1069	102.8	10.29	2.50	6.17	18.96	2.03	0.33	0.08	0.70	1.11	0.12	0.23	0.02	20.30	2.17
合 計								676.66	178.31	321.65	1,176.63	407.47	21.46	5.74	36.66	63.86	21.70	14.36	4.99	1,254.85	434.16

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道29号 姫路北バイパス

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7307	102.8	10.97	3.33	3.94	18.25	13.33	0.36	0.13	0.50	0.99	0.72	0.27	0.20	19.51	14.25
1年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7026	102.8	10.96	3.28	3.96	18.20	12.79	0.36	0.13	0.50	0.99	0.69	0.27	0.19	19.46	13.67
2年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6756	102.8	10.94	3.22	3.98	18.15	12.26	0.36	0.13	0.51	0.99	0.67	0.27	0.18	19.41	13.11
3年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6496	102.8	10.86	3.19	3.98	18.03	11.71	0.35	0.12	0.50	0.98	0.64	0.27	0.17	19.28	12.52
4年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6246	102.8	10.77	3.16	3.97	17.90	11.18	0.35	0.12	0.50	0.98	0.61	0.27	0.17	19.14	11.96
5年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6006	102.8	10.68	3.13	3.97	17.78	10.68	0.35	0.12	0.50	0.97	0.59	0.26	0.16	19.01	11.42
6年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5775	102.8	10.59	3.10	3.96	17.65	10.19	0.35	0.12	0.50	0.97	0.56	0.26	0.15	18.88	10.90
7年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5553	102.8	10.50	3.07	3.95	17.53	9.73	0.34	0.12	0.50	0.96	0.54	0.26	0.14	18.75	10.41
8年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5339	102.8	10.42	3.04	3.95	17.40	9.29	0.34	0.12	0.50	0.96	0.51	0.26	0.14	18.62	9.94
9年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5134	102.8	10.33	3.01	3.94	17.27	8.87	0.34	0.12	0.50	0.95	0.49	0.26	0.13	18.49	9.49
10年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4936	102.8	10.24	2.98	3.93	17.15	8.47	0.33	0.12	0.50	0.95	0.47	0.25	0.13	18.35	9.06
11年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4746	102.8	10.15	2.94	3.93	17.02	8.08	0.33	0.12	0.50	0.94	0.45	0.25	0.12	18.22	8.65
12年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4564	102.8	10.07	2.91	3.92	16.90	7.71	0.33	0.11	0.50	0.94	0.43	0.25	0.11	18.09	8.26
13年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4388	102.8	9.98	2.88	3.91	16.77	7.36	0.33	0.11	0.50	0.94	0.41	0.25	0.11	17.96	7.88
14年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4220	102.8	9.89	2.85	3.91	16.65	7.03	0.32	0.11	0.50	0.93	0.39	0.25	0.10	17.83	7.52
15年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4057	102.8	9.80	2.82	3.90	16.52	6.70	0.32	0.11	0.49	0.93	0.38	0.24	0.10	17.69	7.18
16年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3901	102.8	9.71	2.79	3.89	16.40	6.40	0.32	0.11	0.49	0.92	0.36	0.24	0.09	17.56	6.85
17年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3751	102.8	9.63	2.76	3.89	16.27	6.10	0.31	0.11	0.49	0.92	0.34	0.24	0.09	17.43	6.54
18年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3607	102.8	9.54	2.73	3.88	16.15	5.83	0.31	0.11	0.49	0.91	0.33	0.24	0.09	17.30	6.24
19年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3468	102.8	9.45	2.70	3.88	16.02	5.56	0.31	0.11	0.49	0.91	0.31	0.24	0.08	17.17	5.95
20年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3335	102.8	9.36	2.67	3.87	15.90	5.30	0.31	0.10	0.49	0.90	0.30	0.23	0.08	17.03	5.68
21年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3207	102.8	9.28	2.64	3.86	15.77	5.06	0.30	0.10	0.49	0.90	0.29	0.23	0.07	16.90	5.42
22年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3083	102.8	9.19	2.60	3.86	15.65	4.82	0.30	0.10	0.49	0.89	0.27	0.23	0.07	16.77	5.17
23年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2965	102.8	9.10	2.57	3.85	15.52	4.60	0.30	0.10	0.49	0.89	0.26	0.23	0.07	16.64	4.93
24年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2851	102.8	9.01	2.54	3.84	15.40	4.39	0.29	0.10	0.49	0.88	0.25	0.23	0.06	16.51	4.71
25年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2741	102.8	8.92	2.51	3.84	15.27	4.19	0.29	0.10	0.49	0.88	0.24	0.22	0.06	16.37	4.49
26年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2636	102.8	8.84	2.48	3.83	15.15	3.99	0.29	0.10	0.49	0.87	0.23	0.22	0.06	16.24	4.28
27年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2534	102.8	8.75	2.45	3.82	15.02	3.81	0.29	0.10	0.49	0.87	0.22	0.22	0.06	16.11	4.08
28年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2437	102.8	8.66	2.42	3.82	14.90	3.63	0.28	0.09	0.48	0.86	0.21	0.22	0.05	15.98	3.89
29年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2343	102.8	8.57	2.39	3.81	14.77	3.46	0.28	0.09	0.48	0.86	0.20	0.22	0.05	15.85	3.71
30年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2253	102.8	8.49	2.36	3.80	14.65	3.30	0.28	0.09	0.48	0.85	0.19	0.22	0.05	15.72	3.54
31年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2166	102.8	8.40	2.33	3.80	14.52	3.15	0.27	0.09	0.48	0.85	0.18	0.21	0.05	15.58	3.38
32年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2083	102.8	8.31	2.30	3.79	14.40	3.00	0.27	0.09	0.48	0.84	0.18	0.21	0.04	15.45	3.22
33年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2003	102.8	8.22	2.27	3.79	14.27	2.86	0.27	0.09	0.48	0.84	0.17	0.21	0.04	15.32	3.07
34年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1926	102.8	8.13	2.23	3.78	14.15	2.72	0.27	0.09	0.48	0.83	0.16	0.21	0.04	15.19	2.93
35年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1852	102.8	8.05	2.20	3.77	14.02	2.60	0.26	0.09	0.48	0.83	0.15	0.21	0.04	15.06	2.79
36年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1780	102.8	7.96	2.17	3.77	13.90	2.47	0.26	0.08	0.48	0.82	0.15	0.20	0.04	14.92	2.66
37年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1712	102.8	7.87	2.14	3.76	13.77	2.36	0.26	0.08	0.48	0.82	0.14	0.20	0.03	14.79	2.53
38年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1646	102.8	7.78	2.11	3.75	13.65	2.25	0.25	0.08	0.48	0.81	0.13	0.20	0.03	14.66	2.41
39年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1583	102.8	7.70	2.08	3.75	13.52	2.14	0.25	0.08	0.48	0.81	0.13	0.20	0.03	14.53	2.30
40年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1522	102.8	7.61	2.05	3.74	13.40	2.04	0.25	0.08	0.47	0.80	0.12	0.20	0.03	14.40	2.19
41年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1463	102.8	7.52	2.02	3.73	13.27	1.94	0.25	0.08	0.47	0.80	0.12	0.19	0.03	14.26	2.09
42年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1407	102.8	7.43	1.99	3.73	13.15	1.85	0.24	0.08	0.47	0.79	0.11	0.19	0.03	14.13	1.99
43年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1353	102.8	7.34	1.96	3.72	13.02	1.76	0.24	0.08	0.47	0.79	0.11	0.19	0.03	14.00	1.89
44年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1301	102.8	7.26	1.93	3.71	12.90	1.68	0.24	0.08	0.47	0.78	0.10	0.19	0.02	13.87	1.80
45年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1251	102.8	7.17	1.90	3.71	12.77	1.60	0.23	0.07	0.47	0.78	0.10	0.19	0.02	13.74	1.72
46年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1203	102.8	7.08	1.86	3.70	12.65	1.52	0.23	0.07	0.47	0.77	0.09	0.18	0.02	13.61	1.64
47年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1157	102.8	6.99	1.83	3.70	12.52	1.45	0.23	0.07	0.47	0.77	0.09	0.18	0.02	13.47	1.56
48年目	R 58	0.98729	0.98289	0.99826	0.98938	0.1112	102.8	6.90	1.80	3.69	12.40	1.38	0.23	0.07	0.47	0.76	0.08	0.18	0.02	13.34	1.48
49年目	R 59	0.98712	0.98259	0.99825	0.98927	0.1069	102.8	6.82	1.77	3.68	12.27	1.31	0.22	0.07	0.47	0.76	0.08	0.18	0.02	13.21	1.41
合計								448.19	126.46	191.93	766.58	265.90	14.63	4.94	24.35	43.93	14.95	11.29	3.93	821.80	284.77

路線名	箇所名	車線数	延長
国道29号	姫路北バイパス	4	6.2km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				14,523	
	改良費				6,798	
		土工	m3	1,338,367	5,382	切土(926.654m3)、盛土(411.713m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	95,649	468	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	435	
		函渠工	m	410	513	
	橋梁費				4,440	
		100m以上	m	239	3,452	連続高架橋1橋
		100m未満	m	267	988	PC橋5橋
	トンネル費				1,719	
		NATM	m	251	1,719	2本(上下線)
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,213	
		車道舗装	m ²	102,400	1,142	
		歩道舗装	m ²	27,231	71	
	付帯施設費				353	
		交通管理施設工	式	1	232	標識工、防護柵、道路照明等
		付帯工事工	式	1	121	機能補償等
②	用地及補償費				6,980	
	用地費		m ²	282,000	6,079	
		宅地	m ²	39,000	1,560	
		田畑	m ²	243,000	4,519	
		山林・原野	m ²			
	補償費		式	1	901	
③	間接経費		式	1	3,497	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					25,000	

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道29号	姫路北バイパス	4	6.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.2	3,050	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	10,200	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			13,250	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
国道29号	姫路北バイパス	4	4.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				4,109	
	改良費				903	
		土工	m ³			
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	95,649	468	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	435	
		函渠工	m			
	橋梁費				1,479	
		100m以上	m	239	1,150	連続高架橋1橋
		100m未満	m	267	329	PC橋5橋
	トンネル費				573	
		NATM	m	251	573	
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				995	
		車道舗装	m ²	82,853	924	
		歩道舗装	m ²	27,231	71	
	付帯施設費				159	
		交通管理施設工	式	1	159	標識工、防護柵、道路照明等
		付帯工事工	式			
②	用地及補償費				5,195	
	用地費		m ²	282,000	4,294	
		宅地	m ²	39,000	1,560	
		田畑	m ²	151,745	2,734	H30買収分(姫路市公衆用道路36.41m ²)
		山林・原野	m ²			
	補償費		式	1	901	
③	間接経費		式	1	383	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					9,687	

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道29号	姫路北バイパス	4	4.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.7	2,300	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	8,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,450	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

国近整企画第54号
令和2年10月9日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和2年11月11日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和2年10月26日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道29号姫路北バイパス	事業継続	
一般国道2号相生有年道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

(公 印 省 略)
土 第 1 3 5 1 号
令和 2 年 10 月 23 日

近畿地方整備局長 様

兵庫県知事

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 10 月 9 日付け国近整企画第 5 4 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

【道路事業】

<一般国道 29 号姫路北バイパス>

兵庫県知事の意見

一般国道 29 号姫路北バイパスの「事業継続」との方針に同意します。

姫路北バイパス（約 6.2km）のうち、これまで南側約 1.5km が供用（暫定 2 車）され、現道の交通量が大幅に減少したことにより、石倉交差点の渋滞解消や沿道の環境が改善されるなどの効果が発現されているが、残る 4.7km 区間では渋滞などの課題が残っている。

また、姫路北バイパスの開通により、世界文化遺産・国宝姫路城へのアクセスが向上するなど、広域観光振興を図るうえで大きな効果が見込まれている。

こうしたことから、今後ともコスト縮減を図っていただくとともに、開通の見通しを示しつつ、早期全線開通に向けてこれまで以上に積極的に取り組んでいただきたい。